

中間評価シート

中間評価（表紙）

竹原市歴史的風致維持向上計画（平成24年6月6日認定） 中間評価（平成24年度～令和元年度）

■ 統括シート（様式1）	2
■ 方針別シート（様式2）	
I 歴史的な町並みや建造物の保存に関する方針	3
II 伝統行事等の継承に関する方針	4
III 歴史的町並みや建造物の周辺環境に関する方針	5
IV 歴史資料の保存・研究・展示に関する方針	6
■ 波及効果別シート（様式3）	
i 伝統的建造物群保存地区の観光客数等の増加	7
ii 伝統的建造物群保存地区等における歴史的建造物の保全・継承	8
iii 子供の歴史に対する興味・関心が向上	9
■ 代表的な事業の質シート（様式4）	
A 重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業	10
B 歴史文化啓発冊子作成事業	11
■ 歴史的風致別シート（様式5）	
1 製塩を基盤とした港・商業の発展にみる竹原の歴史的風致	12
2 酒造りにみる歴史的風致	13
3 葡萄にみる歴史的風致	14
4 高崎神明祭にみる歴史的風致	15
5 福田町の秋祭り（福田のししまい）にみる歴史的風致	16
6 田万里八幡神社当屋祭にみる歴史的風致	17
7 忠海祇園祭にみる歴史的風致	18
■ 庁内体制シート（様式6）	19
■ 住民評価・協議会意見シート（様式7）	20
■ 全体の課題・対応シート（様式8）	21

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
① 歴史的風致			
	歴史的風致	対応する方針	
1	製塩を基盤とした港・商業の発展にみる竹原の歴史的風致	I, II, III, IV	
2	酒造りにみる歴史的風致	I, II, III, IV	
3	葡萄にみる歴史的風致	II, IV	
4	高崎神明祭にみる歴史的風致	II	
5	福田町の秋祭り(福田のししまい)にみる歴史的風致	II	
6	田万里八幡神社当屋祭にみる歴史的風致	II	
7	忠海祇園祭にみる歴史的風致	II	
② 歴史的風致の維持向上に関する方針			
	方針		
I	歴史的な町並みや建造物の保存に関する方針		
II	伝統行事等の継承に関する方針		
III	歴史的な町並みや建造物の周辺環境に関する方針		
IV	歴史資料の保存・研究・展示に関する方針		
③ 歴史まちづくりの波及効果			
	効果		
i	伝統的建造物群保存地区の観光客数等の増加		
ii	伝統的建造物群保存地区等における歴史的建造物の保全・継承		
iii	子供の歴史に対する興味・関心が向上		
④ 代表的な事業			
	取り組み	事業の種別	
A	重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業	歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
B	歴史文化啓発冊子作成事業	その他	

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
方針	I 歴史的な町並みや建造物の保存に関する方針	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区では計画的に町家の保存修理事業や修景事業を行い、良好な歴史的景観を保全しているが、竹原市では、少子高齢化・人口減少が進んでおり、このような影響を受け、空き家や空き地が増えている。

【方針】竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区及びその周辺においては、連続性のある町並みを維持するため、保存修理事業を行い、歴史的風致を形成する歴史的な町並みを保存していく。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	歴史的風致形成建造物（藤井酒造）保存修理事業	蔵の屋根・外壁の修理	あり	H26～28
2	まちなみ竹工房（旧城原家土蔵）保存修理活用事業	竹工芸の創作販売施設として修理	あり	H24～25
3	重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業	19件の保存修理補助（H24～R1）	あり	S57～
4	伝統的建造物群保存地区保存計画見直し事業	見直し後の保存計画策定	あり	H24～27
5	文化財の指定	国登録有形文化財1件、市重要文化財1件	なし	H26～

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

【歴史的風致形成建造物（藤井酒造）保存修理事業】

伝統的建造物群保存地区に隣接している歴史的風致形成建造物の藤井酒造（文化交流イベント等で一般公開）は、経年劣化により建物の破損が大きかった。破損・劣化の状況の把握と修理を行ったことにより、連続性のある町並みを維持することができ、かつ、引き続き文化交流施設として充実が図られた。

【伝統的建造物群保存地区保存計画見直し事業】

修理・修景・許可基準を具体化した竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区保存計画を策定できた。策定に当たっては、竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区保存対策調査委員会で審議を行った。現在は、この保存計画を元に現状変更行為の許可を行うなど、歴史的景観の保全に取り組んでいる。

藤井酒造保存修理事業



着手前



完成

④ 自己評価

歴史的建造物の保存修理や未指定の建造物の文化財指定等により、竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区及びその周辺において連続性のある町並みを維持することができた。

なお、歴史的な町並みの通りに面した空き家や空き地の解消が課題となっている。

⑤ 今後の対応

今後も、歴史的建造物の所有者等に支援をし、歴史的建造物の修理や町並みと調和した修景を行い、歴史的な町並みの保存に取り組んでいく。

また、歴史的建造物の保存を進めるため、「空き家バンク」制度を活用して、空き家対策に取り組んでいく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
方針	Ⅱ 伝統行事等の継承に関する方針	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】伝統行事の意義と地元の先輩たちのたゆまぬ努力により今日まで引き継がれてきた重みを、行事を引き継いでいく若者に伝えきれていない。さらには加速度的に進む少子高齢化・人口減少もあいまって、継承が危ぶまれている行事がある。

【方針】今日まで引き継がれてきた伝統行事の誇りを伝えていくため、広報活動等を通じて伝統行事を紹介し、伝統行事の価値や特性を再認識してもらう。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	伝統行事等助成事業	7団体に助成	あり	H24～
2	伝統行事記録収集保存事業	伝統行事等を年1件記録	あり	H24～
3	伝統行事・伝統文化啓発事業	小学校の総合学習で年1回以上説明	あり	H24～
4	文化財の指定	市無形民俗文化財1件	なし	H25～
5				

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

【伝統行事等助成事業】

伝統行事等を行う団体が伝統行事等に必要な備品を購入するための支援を行うことにより、関係者の継承意識の高揚につながり、伝統行事等が継続的に実施されている。

福田のししまい



必要な備品購入(H25)

【伝統行事・伝統文化啓発事業】

小学校の総合学習の時間において、伝統行事・伝統文化の説明を行うことにより、伝統行事・伝統文化の背景や意義について若者に周知することができた。

【文化財の指定】

竹原市の維持及び向上すべき歴史的風致に位置付けている「田万里八幡神社当屋祭オハケ神事」を竹原市無形民俗文化財に指定し、地域住民等の協力が得られる体制づくりと啓発をすることができた。



獅子舞の様子(R1.10)

④ 自己評価

伝統行事等の助成や伝統行事・伝統文化の啓発等により、今日まで引き継がれた伝統行事等の紹介し、継承への気運を高めることができた。

なお、少子高齢化が進む中で、特に子どもが中心となっている伝統行事等の後継者育成は継続的な課題となっている。

⑤ 今後の対応

今後も、広報活動等を通じて伝統行事を紹介し、伝統行事の価値や特性を再認識してもらい、後継者育成につながるよう取組を進めていく。

また、伝統行事等について写真や書面等で記録をし、後世にわたって活動が引き継がれるように取り組んでいく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
方針	Ⅲ 歴史的町並みや建造物の周辺環境に関する方針	今後の対応	施策拡充

① 課題と方針の概要

【課題】竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区とその周辺部からなる歴史的な町並みとそこを取り囲む寺山と鎮海山の山並みが一体となり、良好な歴史的景観を形成しているが、景観の阻害要因となっている箇所もある。

【方針】歴史的風致の色濃く残る地域では、道路や周辺環境についても歴史的景観に配慮した整備を検討する。また、良好な景観は市民共有の財産であるという認識の醸成や景観の維持向上に向けた啓発に取り組む。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	旧広島銀行竹原支店跡地小公園整備事業	用地取得、トイレ・ベンチ・花壇を整備	あり	H25
2	市道楠通成井線道路改良事業	L=80mを整備(新設)	あり	H21～25
3	景観計画策定事業	景観づくり勉強会を2回開催	あり	H30～R2
4	白アリ駆除の助成	43件の駆除助成	なし	H27～29
5	交差点標識の改善	観光地名称「たけはら町並み保存地区」に変更	なし	H28

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

【旧広島銀行竹原支店跡地小公園整備事業】

歴史的な町並みの景観阻害要因となっていた近代的な建物があった土地を取得し、小公園(トイレ、外構等)を整備したことにより、隣接する森川家住宅の眺望改善を図るとともに、観光客の回遊性を高めることができた。整備に当たっては、竹原市歴史的風致維持向上計画推進会議プロジェクトチームで整備方針を決定した。

【景観計画策定事業】

市民と行政とが、景観について学び・考え・取り組む景観づくり勉強会を開催し、景観計画の策定に向けて機運を高めることができた。

【白アリ駆除の助成】

竹原町並保存会と連携し、竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区内のシロアリ調査を実施したところ、多くの建物でシロアリ被害が確認された。こうしたことから、シロアリ駆除に対して助成を行い、歴史的な町並みの環境を保全することができた。

小公園整備事業



整備前



整備後

④ 自己評価

景観阻害物件の解体や景観に配慮した道路整備等により、歴史的景観に配慮した整備を実施することができた。今後も、歴史的景観に配慮した整備を進めていく必要がある。

また、住民の協力を得て歴史的な町並みの環境保全に取り組むことができた。

⑤ 今後の対応

引き続き、景観阻害物件の解体等を行い、良好な歴史的景観の形成に取り組んでいく。

また、景観計画の策定を進めるとともに、良好な景観は市民の財産であるという認識の醸成や景観の維持向上に向けた啓発を進めていく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
方針	IV 歴史資料の保存・研究・展示に関する方針	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】民間施設や一般住宅に眠っている貴重な歴史資料については、住民に資料保管の重要性を十分に啓発できていないため、破棄等により歴史資料が失われつつある。

【方針】歴史資料の調査・研究の成果を活かし展示ができる環境づくりを進め、住民の歴史認識の向上を図り、歴史資料の保管・研究・活用の重要性を啓発していく。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	歴史文化啓発冊子作成事業	1,000部作成し市内全ての小中学校等に配布	あり	H30
2	竹原市史編さん記録保存事業	8箇所では歴史資料の収集(H24～R1)	あり	H19～
3	出前講座	5回開催(H24～R1)	あり	H14～
4	日本遺産認定の取組	日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に追加認定(R1)	なし	H30～
5				

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

【竹原市史編さん記録保存事業】

寄附を受けた古文書等により、竹原の学問や文化活動を伝える展示等を行い、市民等が来場し、竹原市の歴史文化を知る契機となった。

【出前講座】

住民に対して竹原市の歴史や文化財の説明を行うことで、文化財等の魅力を伝えることができた。また、歴史資料の収集を呼びかけるなど、歴史資料に対する住民の意識向上を図ることができた。

【日本遺産認定の取組】

北前船に関する調査・研究を実施し、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落」に追加認定され、市民に竹原市の歴史の新たな一面を紹介することができた。



歴史資料の展示(H29)



日本遺産認定セレモニー(R1.6)

④ 自己評価

歴史文化啓発冊子の作成や古文書の展示等により、歴史資料の調査・研究の成果を活かす環境づくりと住民への啓発を進めることができた。

なお、今後も、竹原市の歴史を知る上で必要な歴史資料を把握していくことが課題となっている。

⑤ 今後の対応

歴史資料の調査・研究の成果を活かした展示等を行い、住民の歴史認識の向上を図り、歴史資料の保管・研究・活用の重要性を啓発していく。

また、上記のような取組の広報活動を行い、歴史資料の重要性を啓発し、住民意識の向上を図る。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
効果	i 伝統的建造物群保存地区の観光客数等の増加		

① 効果の概要

観光客数が7年間で約2倍に増加，観光消費額が7年間で約5倍に増加

② 関連する取り組み・計画

	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度
1	竹原市総合計画	あり	H21～
2	外国人目線で作る竹原ブラッシュアップアクションプラン	あり	H28～
3	竹原市観光消費戦略アクションプラン	なし	H29～

歴史文化の保存・継承・活用について，歴史文化を守り・継承に取り組むとともに，町並みの保存・活用・魅力づくりを進めた。

観光振興について，魅力的な観光地域の形成とネットワークづくりに取り組むとともに，受け入れ態勢の整備・充実や宣伝・誘客活動による地域間交流の促進を進めた。

③ 効果発現の経緯と成果

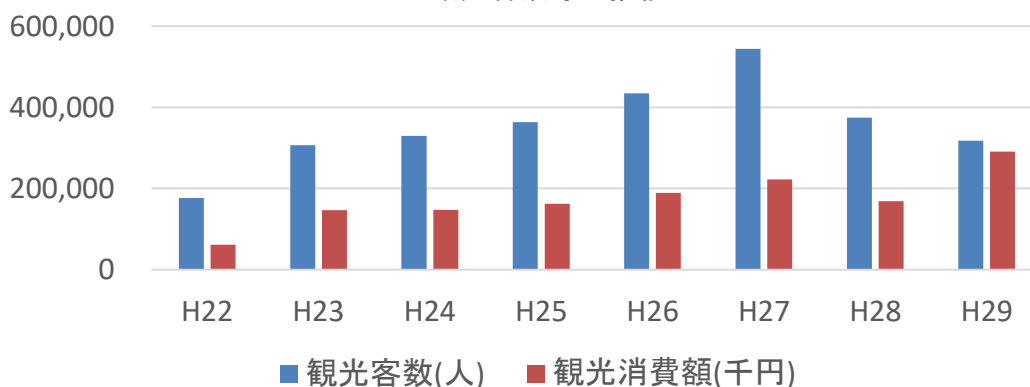
・竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区（重点区域の一部）の観光客数については，平成22年で約176,000人，平成29年で約319,000人と増加している。また，同地区の観光消費額については，平成22年で約61,000千円，平成29年で291,000千円と増加している。

なお，平成26年・平成27年の観光客数は，テレビドラマの影響で大きく増加した。

・竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区及びその周辺で歴史的建造物の修理等を行い，歴史的な町並みの保存を進めた。

・外国人を含む観光客については，ホームページの充実やパンフレットのリニューアルのほか，無料WiFi設置，空き店舗等改修補助による店舗増加などの受け入れ体制を充実させた。

観光客数等の推移



④ 自己評価

竹原市歴史的風致維持向上計画に基づき様々な事業に取り組み，また，観光客の受け入れ体制を充実させたことにより，観光客数及び観光消費額が大幅に増加した。

⑤ 今後の対応

引き続き，歴史的風致を維持・向上させるため，歴史的な町並みや建造物の保存を進めるとともに，周辺環境の保全にも取り組んでいく。

また，インバウンド観光を推進するとともに，観光プロモーション活動を展開していく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
効果	ii 伝統的建造物群保存地区等における歴史的建造物の保全・継承		
① 効果の概要 文化財指定と空き家バンク制度を活用し、歴史的建造物を保全・継承			
② 関連する取り組み・計画			
	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度
1	竹原市総合計画	あり	H21～
2	竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区保存計画	あり	S57～
3	竹原市教育大綱	なし	H27～
<p>文化財の調査・研究に取り組み、文化財の総合的な把握に努めるとともに、価値の高い文化財については、文化財に指定するなど、保存を進めた。</p> <p>歴史的景観を形成する伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物等については、空き家再生の重要性を啓発し、空き家バンク制度を推進した。</p>			
③ 効果発現の経緯と成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の新規登録・指定については、竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区及びその周辺（重点区域の一部）において、平成26年度に国登録有形文化財1件、平成30年度に市重要文化財1件と、合計2件を新規に文化財に登録・指定した。 ・文化財の登録・指定に当たっては、必要な調査を行い、調査結果に基づき文化財の登録・指定を行い、文化財の登録・指定後は、所有者等により、適切に保存と活用が行われている。 ・空き家対策の促進については、竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区において、空き家バンク制度により、制度開始（平成20年度）以降、12件登録され、11件が成約となった。 ・空き家バンクによる成約後は、新しい所有者等により建造物の修理や活用が行われている。 			
			
市重要文化財 旧吉井家住宅		空き家バンク成約後の修理	
④ 自己評価			
文化財の新規登録・指定を行い、また、空き家対策を促進したことにより、伝統的建造物群保存地区及びその周辺において、歴史的建造物の保全・継承につながった。			
⑤ 今後の対応			
<p>今後も、文化財の調査等を実施するとともに、文化財の登録・指定に取り組み、文化財の保存・継承を図っていく。</p> <p>また、空き家所有者等への啓発を行い、空き家バンク制度を活用していく。</p>			

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
効果	iii 子供の歴史に対する興味・関心が向上		

① 効果の概要

歴史に触れ学ぶ機会を創出し、子供の歴史に対する興味・関心が向上

② 関連する取り組み・計画

	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度
1	竹原市総合計画	あり	H21～
2	竹原市教育大綱	なし	H27～
3			

竹原市の文化財や歴史文化を分かりやすく伝えるとともに、文化財の保護に関する意識啓発を進めた。

また、伝統的建造物群保存地区をはじめとした文化財に直接触れ、学習する機会の確保・充実を図った。

③ 効果発現の経緯と成果

・総合的な歴史文化の啓発冊子の作成に際して、平成30年度に、市内小学校の6年生が、総合学習の時間や図工の授業を利用して、小学校ごとの歴史地図を作成した。

作成した冊子は、小学校で地域の歴史・文化を勉強する際の副読本として活用している。

・総合学習の時間において、小学生が、竹原市の伝統産業である製塩業や酒造業について学習した。また、製塩業（塩づくり）について、実際に往時の工程により体験した。

・小学生を対象とした「たけはら歴史体験講座」を開催し、文化財の修理を体験してもらうとともに、文化財の見学を行った。



学習風景



塩づくり体験

④ 自己評価

子供たちが、総合的な歴史文化の啓発冊子の作成・活用をはじめとして、文化財や歴史を学習・体験したことにより、子供の歴史に対する興味・関心が向上した。

⑤ 今後の対応

今後も、子供たちに文化財や歴史文化を分かりやすく伝える取組を進めていくとともに、文化財の修理等を体験する機会を充実させていく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
取り組み	A 重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業	種別	歴史的風致維持向上施設
<p>① 取り組み概要</p> <p>竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区を保存するため、昭和57年度から、毎年度、保存地区内において建造物等の修理事業及び修景事業を実施している。</p> <p>民間所有の建造物については、修理事業として伝統的建造物の外観の復元を、修景事業として伝統的建造物以外の建造物等の外観の整備を、それぞれ助成制度として実施している。</p> <p>【保存修理事業の実績】(H24～R1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度 2件 ・平成25年度 2件 ・平成26年度 2件 ・平成27年度 2件 ・平成28年度 4件 ・平成29年度 3件 ・平成30年度 1件 ・令和元年度 3件 <p style="text-align: right;">合計19件</p>		<p style="text-align: center;">建物の修景</p> 	
<p>② 自己評価</p> <p>竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区を構成する伝統的建造物の修理と伝統的建造物の様式に準じた外観修景を実施することで、連続性のある歴史的な町並みを維持することができた。</p> <p>なお、事業の実施に当たっては、学識経験者等で構成する竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会の専門的・技術的な指導・助言を受けながら進めた。</p> <p>また、住民、所有者、事業者等に、建物の歴史性や価値を認識してもらう取組や、保存修理のルールを啓発することが重要である。</p>			
外部有識者名	奈良女子大学 藤田盟児教授, 兵庫県立大学 宇高雄志教授		
外部評価実施日	令和2年1月21日		
<p>③ 有識者コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よい修理レベルをキープしている。これは、住民と行政の共通理解があるからこそだと思う。これまでの間に、じっくりと取組をしてきた成果だと思う。 ・個々の建造物の時代性や地域性が生きてきており、豊かな環境になった。 ・今後、更に地域の宝となっていくと思う。 ・実施件数が8年間で19件では、重要伝統的建造物群保存地区として歴史のある竹原には少ない。 ・昨今の自然災害等を踏まえ、伝統的建造物群保存地区の防災対策は避けられない。 			
<p>④ 今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区を保存するため、竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会の専門的・技術的な指導・助言を受けながら、事業を進めていく。 ・住民、所有者、事業者等に対して、引き続き、竹原らしい建物の特徴や伝統的な建築技術の重要性を啓発していく。 ・住民等に対して、防火訓練等を通じ防災対策の必要性について注意喚起を行っていく。 			

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
取り組み	B 歴史文化啓発冊子作成事業	種別	それ以外
<p>① 取り組み概要</p> <p>竹原の歴史文化の啓発と郷土愛の醸成を図るため、平成30年度に、古代から現代までを通じた総合的な歴史文化の啓発冊子として、「たけはら歴史読本」を1,000部作成した。</p> <p>作成した啓発冊子を、市内の全ての小中学校や市立竹原書院図書館等に配付した。小学校においては、地域の歴史・文化を勉強する際の副読本として活用されている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>【たけはら歴史読本の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史編 <ul style="list-style-type: none"> ・ 古代 ・ 中世 ・ 近世 ・ 近・現代 ○ 年表編 ○ 歴史地図編 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各小学校の歴史地図 ・ 竹原全図 ・ 竹原文化財地図 </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>たけはら歴史読本の表紙</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>歴史地図作成の現地調査</p> </div>			
<p>② 自己評価</p> <p>歴史文化の啓発冊子の作成や活用を通じて、竹原の歴史や伝統活動等を学習することにより、竹原の歴史文化を守り、継承し、市民の財産・誇りとして根付かせる機会を創出することができた。特に、市内小学校の6年生が、総合学習の時間や図工の授業を利用して、小学校区ごとの歴史地図を作成したことにより、歴史文化への関心を高めることができた。</p> <p>現状では、中学生・高校生等に対しては、十分にアプローチができていない状況にある。</p>			
外部有識者名	奈良女子大学 藤田盟児教授, 兵庫県立大学 宇高雄志教授		
外部評価実施日	令和2年1月21日		
<p>③ 有識者コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に読みやすい。小学校高学年レベルで作成しているとのことで、これは一般の方が読むにはちょうどよい。 ・小学校で副読本として使われているとのことなので、フィードバックを先生や児童から受けるべきだと思う。 ・これからのインバウンド対応を考えると、こういった冊子の外国語版が必要だと思う。 ・冊子の見開き1ページをホームページで公開し、一般の方の好奇心を刺激する取組をしてはどうか。 			
<p>④ 今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、竹原の歴史文化の啓発と郷土愛の醸成を図るため、作成した「たけはら歴史読本」の周知を行い、積極的に活用していく。 ・作成した「たけはら歴史読本」の読者等からフィードバックを行い、今後の事業に生かしたい。 ・インバウンド向けや世代ごとの歴史文化の普及・啓発方法を検討していきたい。 			

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
歴史的風致	1 製塩を基盤とした港・商業の発展にみる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的な町並みや建造物の保存に関する方針 II 伝統行事等の継承に関する方針 III 歴史的な町並みや建造物の周辺環境に関する方針 IV 歴史資料の保存・研究・展示に関する方針		

① 歴史的風致の概要

竹原はかつて下市村と呼ばれ、製塩町として繁栄した地域である。製塩で富を得た富裕層は、大規模宅地に本瓦葺・漆喰塗籠で格子に多様な形式が見られる意匠の優れた大規模な屋敷を構え、重厚な町並みを形成していった。この地区では、磯宮八幡神社例大祭の蒲団太鼓や住吉神社の住吉祭などの伝統行事が、大切に受け継がれ、町並みの背景である寺山・鎮海山風致地区と一体となり、美しい歴史ある風景を作りだしている。

② 維持向上の経緯と成果

竹原市の維持及び向上すべき歴史的風致に位置付けている製塩を基盤とした港・商業の発展について、現在も歴史的な町並みが保存されている。また、伝統行事が毎年実施され、継承されている。



伝統的建造物群保存地区

●重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業

竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区内において、建造物の外観等の修理事業・修景事業を行い、保存地区の景観を維持することができた。

●伝統行事等助成事業

江戸時代に祭りの際に提灯が軒先につるされていたことから、提灯等の備品を購入するための支援を行うことにより、祭り等で提灯をつるし江戸時代の歴史的景観を再現することができた。



土壁塗り体験

●文化財への指定

平成30年度に、「旧吉井家住宅」を竹原市重要文化財に指定し、指定後、適切に保存と活用を行い、文化財への住民理解の促進につながった。

●たけはら歴史体験講座の実施

市内の小学生に文化財修理を体験してもらい、町並みの歴史等について啓発することができた。

③ 自己評価

伝統的建造物群保存地区内の修理修景や周辺環境の整備を進め、文化財への指定や町並みの歴史等の啓発も取り組み、更に実施団体により伝統行事が継承されていることから、歴史的風致が向上した。

④ 今後の対応

今後も、伝統的建造物群保存地区内の修理修景などのハード事業や、町並みの歴史等の啓発・活用などのソフト事業に取り組んでいく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
歴史的風致	2 酒造りにみる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的な町並みや建造物の保存に関する方針 II 伝統行事等の継承に関する方針 III 歴史的な町並みや建造物の周辺環境に関する方針 IV 歴史資料の保存・研究・展示に関する方針		

① 歴史的風致の概要

竹原は「安芸の小灘」といわれ、酒造りは、江戸時代から盛んであった。江戸時代や明治時代建築の酒蔵では、伝統の技術を高め、継承しながら、現在も質の高い酒造りを続けている。
 繁忙期の冬には早朝に白い蒸気が立ち昇り、酒屋の軒先に吊るされた杉玉の色の変化が新酒の熟成を知らせるなど、四季折々の風景が歴史的な建造物と一体となり、時代の息吹を感じることができる。

② 維持向上の経緯と成果

竹原市の維持及び向上すべき歴史的風致に位置付けている酒造りについて、現在も歴史的な建造物で質の高い酒造りを続けている。

●歴史的風致形成建造物(藤井酒造)保存修理事業
 歴史的風致形成建造物の藤井酒造について、蔵の屋根及び外壁の修理を行い、引き続き酒蔵としての利用につながった。



藤井酒造(修理後)

●歴史文化啓発冊子作成事業
 古代から現代までを通じた歴史文化啓発冊子を作成し、酒造りにについても掲載し周知することができた。

●歴史民俗資料館のリニューアル
 展示内容の見直しを行い、「たけはらの塩と酒」というテーマで展示替えを行い、住民の歴史認識の向上を図ることができた。



3蔵対談(H24.8)

●3蔵対談
 現在酒造りをしている3蔵の代表者が集まり、酒造りを継承することや歴史等について対談を行い、内容を広報たけはらに掲載するなどし、広く紹介することができた。

③ 自己評価

蔵元により酒造りが継承されており、また、歴史的建造物の保存修理や周辺環境の整備を進め、酒造りの歴史等の啓発や展示も取り組んだことにより、歴史的風致が向上した。

④ 今後の対応

今後も、周辺環境の整備などのハード事業や、酒造りの啓発・展示などのソフト事業に取り組んでいく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
歴史的風致	3 葡萄にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	II 伝統行事等の継承に関する方針 IV 歴史資料の保存・研究・展示に関する方針		

① 歴史的風致の概要

江戸時代に干拓された農地で、明治時代から栽培されている葡萄は、病害、塩害など数々の壊滅的被害に見舞われたが、葡萄関係者の努力により存続の危機を乗り越え、現在も、竹原を代表する特産品として豊かな実りをもたらしている。

晩夏、たわわに実った紫色鮮やかな葡萄と緑眩しい葡萄棚は、まるで宝石と宝石を大切に包み込む宝石箱を連想させ、竹原一円に広がる甘酸っぱい香りと合わさり、竹原葡萄に命を懸けた人々の思いを感じることができる。

② 維持向上の経緯と成果

竹原市の維持及び向上すべき歴史的風致に位置付けている葡萄について、毎年栽培され、継承されている。

● 歴史文化啓発冊子作成事業

古代から現代までを通じた歴史文化啓発冊子を作成し、竹原葡萄についても掲載し周知することができた。

● 伝統行事・伝統文化啓発事業

市立竹原書院図書館において、葡萄栽培の先駆者の事績や関連図書等の展示を行い、竹原葡萄を紹介することができた。



竹原葡萄



葡萄の図書等展示

③ 自己評価

栽培農家により継承されており、歴史的風致の維持が図られている。

なお、少子高齢化が進む中で、後継者育成は継続的な課題となっている。また、葡萄の歴史を伝える取組を進める必要がある。

④ 今後の対応

広報活動等を通じて竹原葡萄を紹介し、葡萄栽培の歴史等を広く啓発していく。併せて、若者が継承に意欲をもち、やりがいを感じてもらうために、竹原葡萄を紹介していく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
歴史的風致	4 高崎神明祭にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	Ⅱ 伝統行事等の継承に関する方針		

① 歴史的風致の概要

竹原市では市内全域約80箇所で行われ、旧暦小正月頃になると無病息災、五穀豊穡を祈願する色とりどりに飾られた神明が市内あちこちで見られる。

竹原市街地の東隣に位置する高崎町では、2月に高崎神明祭が行われる。

竹原市の冬の風物詩「神明」の中でも高崎神明祭は、水の神様と火の神様を同時に奉る特殊行事であり、男児の勇ましい掛け声、町内に鳴り響く太鼓の音が歴史を感じさせるとともに、高崎町全体で大切に守られ、高崎町民の結びつきが感じられる。

② 維持向上の経緯と成果

竹原市の維持及び向上すべき歴史的風致に位置付けている高崎神明祭について、毎年実施され、継承されている。

● 伝統行事記録収集保存事業

高崎神明祭の写真による撮影を行い、伝統行事を後世に継承していくための記録を保存することができた。

● 伝統行事・伝統文化啓発事業

竹原市の公式ホームページや冊子等で、高崎神明祭の由来や行事内容を紹介することができた。



神明を起こす



町内の家を回る男児

③ 自己評価

実施団体により継承されており、歴史的風致の維持が図られている。

なお、少子高齢化が進む中で、参加者の確保は継続的な課題となっている。

④ 今後の対応

今後も、定期的に伝統行事の記録・保存を進める。

また、参加者が継承に意欲をもち、やりがいを感じてもらうために、広報活動等を通じて伝統行事を紹介していくとともに、地域の誇りとして広く周知していく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
歴史的風致	5 福田町の秋祭り(福田のししまい)にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	Ⅱ 伝統行事等の継承に関する方針		

① 歴史的風致の概要

高崎町の東隣に位置する福田町では、広島県無形民俗文化財に指定されている「福田のししまい」が行われる。

福田町の秋祭りは、神聖な雰囲気醸し出す稚児舞と鈴の音、神童と獅子の見事に揃った動きが優雅で美しい獅子舞の太鼓や笛の音、賑やかで勇壮な神輿の担ぎ手の掛け声が、稲生神社などの歴史的な建物と合わさり、歴史と伝統の継承を感じるとともに、子供たちを地域の宝として、厳しさの中にも温かく見守り、育てるといふ地域の繋がりの大切さを気付かせてくれる。

② 維持向上の経緯と成果

竹原市の維持及び向上すべき歴史的風致に位置付けている福田町の秋祭り(福田のししまい)については、「福田のししまい」として、昭和56年に広島県無形民俗文化財に指定されたもので、毎年実施され、継承されている。

● 伝統行事等助成事業

福田のししまいに必要な獅子頭、太鼓等の備品を購入するための支援を行うことにより、関係者の継承意識の高揚につながった。

● 伝統行事記録収集保存事業

福田のししまいの映像及び写真による撮影を行い、伝統行事を後世に継承していくための記録を保存することができた。



獅子頭



獅子舞

③ 自己評価

実施団体により継承されており、また、行事に必要な備品購入の支援を行うことにより、歴史的風致の維持が図られている。

なお、少子化が進む中で、担い手の確保は継続的な課題となっている。

④ 今後の対応

今後も、定期的に伝統行事の記録・保存を進める。

また、広報活動等を通じて伝統行事を紹介し、若者が興味をもち、担い手としてのやりがいを感じてもらおう取り組んでいく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
歴史的風致	6 田万里八幡神社当屋祭にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	Ⅱ 伝統行事等の継承に関する方針		

① 歴史的風致の概要

田万里町は竹原市の北西，東広島市との市境に位置している。田万里町のほぼ中央に位置する田万里八幡神社では，毎年9月に当屋祭が行われる。

9月のさわやかに澄みきった秋空の下，オハケと田万里町の田園風景，田万里八幡神社の歴史的建造物と神饌として並べられた秋の訪れを告げる果実や草花が，田万里八幡神社に鳴り響く太鼓や笛の音と一体となり，荘厳な時の流れを感じさせるとともに，田万里町民に子供を宝として大切に育てるといふ地域コミュニティが連綿と引き継がれていることを感じることができる。

② 維持向上の経緯と成果

竹原市の維持及び向上すべき歴史的風致に位置付けている田万里八幡神社当屋祭について，「田万里八幡神社当屋祭オハケ神事」として，毎年実施され，継承されている。

●文化財への指定

平成25年度に，「田万里八幡神社当屋祭オハケ神事」を竹原市無形民俗文化財に指定し，地域住民等の協力が得られる体制づくりと啓発をすることができた。

●伝統行事記録収集保存事業

田万里八幡神社当屋祭オハケ神事の映像及び写真による撮影を行い，伝統行事を後世に継承していくための記録を保存することができた。



オハケ造り



オハケ神事

③ 自己評価

実施団体により継承されており，また，文化財への指定による啓発等を行うことにより，歴史的風致の維持が図られている。

なお，人口減少や少子高齢化が進む中で，担い手の確保や後継者育成は継続的な課題となっている。

④ 今後の対応

今後も，定期的に伝統行事の記録・保存を進める。

また，広報活動等を通じて伝統行事を紹介し，後世にわたって活動内容が引き継がれるよう取り組んでいく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
歴史的風致	7 忠海祇園祭にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	Ⅱ 伝統行事等の継承に関する方針		

① 歴史的風致の概要

竹原市の東、三原市との市境に位置する忠海町では、7月第3日曜日に広島県無形民俗文化財に指定されている「忠海の祇園祭みこし行事」が行われ、町全体が祭一色に染まる。

この忠海祇園祭は、20歳の若者の成人の儀式で、若者を地域に厳しくも温かく迎え入れる伝統として受け継がれてきた行事であり、祭りの日には、町全体に「奥守さん」や担ぎ手の男達の勇ましい掛け声や太鼓の音が響き渡り、忠海の歴史的な町並みと一体となって、勇壮で厳格な雰囲気醸し出されている。

② 維持向上の経緯と成果

竹原市の維持及び向上すべき歴史的風致に位置付けている忠海祇園祭については、「忠海の祇園祭みこし行事」として、昭和59年に広島県無形民俗文化財に指定されたもので、毎年実施され、継承されている。

● 伝統行事記録収集保存事業

忠海の祇園祭みこし行事の写真による撮影を行い、伝統行事を後世に継承していくための記録を保存することができた。

● 伝統行事・伝統文化啓発事業

竹原市の公式ホームページや冊子等で、忠海の祇園祭みこし行事の歴史や行事内容を紹介することができた。



奥守さん



神輿廻し

③ 自己評価

実施団体により継承されており、歴史的風致の維持が図られている。

なお、少子高齢化が進む中で、後継者育成は継続的な課題となっている。

④ 今後の対応

今後も、定期的に伝統行事の記録・保存を進める。

また、若者が継承に意欲をもち、やりがいを感じてもらうために、広報活動等を通じて伝統行事を紹介していく。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
------	-----	--------	---------

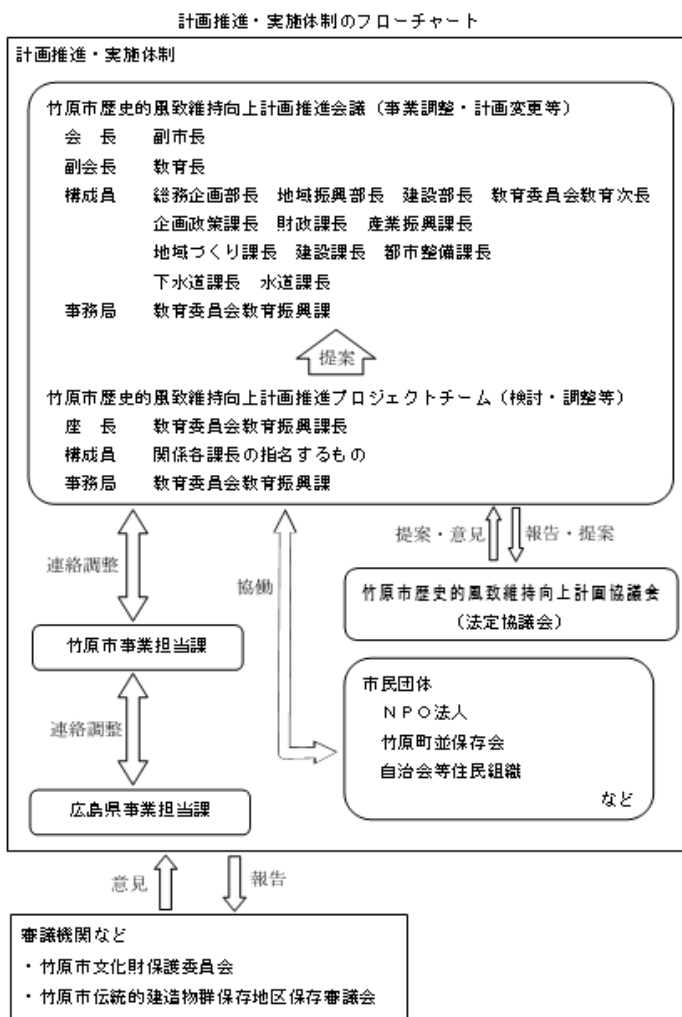
① 庁内組織の体制・変化

計画の推進に当たっては、「竹原市歴史的風致維持向上計画推進会議」において庁内の連携と事業調整を図っている。

また、「竹原市歴史的風致維持向上計画推進会議プロジェクトチーム」を庁内に設置し、竹原市歴史的風致維持向上計画推進会議の所掌事務に関する具体的事項について、調査研究及び事務的な連絡調整を行っている。

上記の取りまとめは、文化財保護行政を主管する竹原市教育委員会教育振興課が事務局として行っている。

なお、文化財保護行政の主管については、まちづくり行政と文化財保護行政の円滑な連携を図るため平成18年度から市長部局で教育委員会の補助執行を行っていたが、竹原市総合教育会議の設置や竹原市教育大綱の策定を契機として、平成28年度の組織改正により、教育委員会へ移管した。



② 庁内の意見・評価

・まずは、関係部署の職員が、竹原市歴史的風致維持向上計画の目的、維持及び向上すべき歴史的風致等について、十分に理解することが重要だと感じた。

・関係部署の職員による竹原市歴史的風致維持向上計画推進会議プロジェクトチームによって、実施する事業の連絡調整や事業内容の協議を行い、各事業を推進することができた。

・今後も、上記のような取組を継続していくこと大事だと思う。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
------	-----	--------	---------

① 住民意見

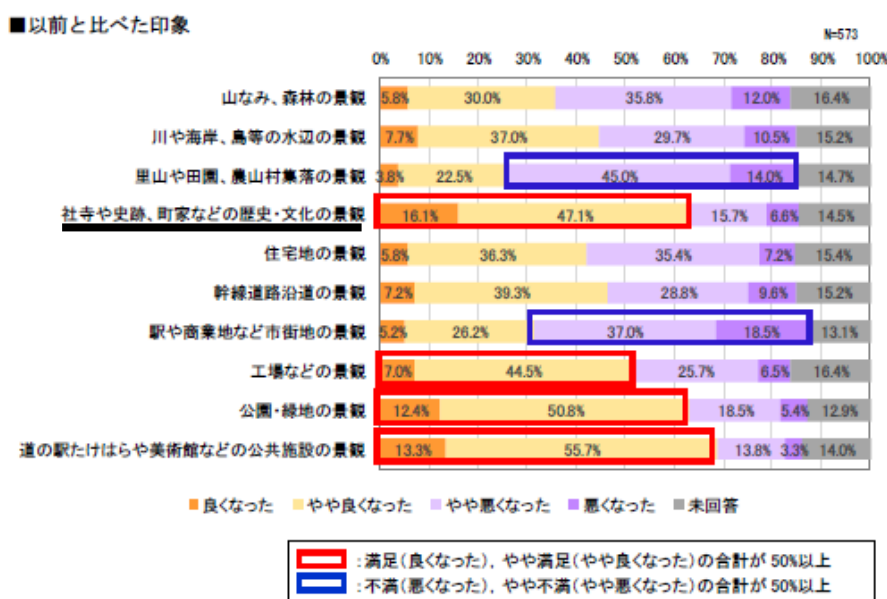
◆ 住みよさ満足度アンケート調査 (H28.10)

竹原市のまちづくり等についての意見として、

- ・竹原市の強みとして、古くから落ち着いた町並みなどがあると思います。官民がこれからも協力し、歴史的な建物の保存や町並みの景観の保全に取り組んでいくことが必要だと思う。
- ・町並みの空き家を活用して住んでもらい、歴史ある町並みのよさを知ってもらいたい。
- ・町並み保存地区の活性化に今までどおり取り組んでほしい。
- ・地域のお祭りは、ずっと継承して行ってほしい。

◆ 景観に関するアンケート調査 (R1.8)

「社寺や史跡、町家などの歴史・文化の景観」については、以前(5～10年前)と比べて、6割以上の市民が「良くなった」「やや良くなった」と感じている。



アンケート結果

② 協議会におけるコメント

- ・長年、歴史まちづくりに取り組んでいて、大変評価できる。
- ・良い取組を行っているが、市民にあまり伝わっていないのではないか。市民に向けての啓発やPRをしっかりとしてほしい。
- ・歴史・文化の継承イベントについては、一過性ではなく、継続的な文化交流が必要である。
- ・歴史・文化への市民の興味・関心を醸成するため、大人向けの講座も実施していく必要があるだろう。
- ・歴史的な町並みや建造物の保存について、質の高い修理を行うなど、しっかりと丁寧な取組ができています。
- ・自動販売機等をラッピングなどで工夫すれば、まちなみをもっとよくなると思う。
- ・近年は観光客数が減少傾向にあるので、道の駅たけはらからの導線を整備していくことも必要だと思う。

市町村名	竹原市	評価対象年度	H24～R1年
<p>① 全体の課題</p> <p>1. 竹原市歴史的風致維持向上計画の期間は、平成24年度から令和4年度までとなっており、計画の初年度から8年が経過し、残り3年で計画に掲載している事業を着実に実施・展開していくことが課題となっている。</p> <p>2. 竹原市の歴史的風致の維持及び向上をより一層図るため、歴史的景観等の保全に向けた区域・方針の決定や規制等を行い、良好な景観づくりを進める必要がある。</p> <p>3. 重点区域内で、歴史的建造物の隣接地において空き家となり景観阻害物件となっている建物への対応が必要となっている。</p> <p>4. 人口減少や少子高齢化により、伝統行事等の担い手の確保や後継者育成が継続的な課題となっている。</p>			
<p>② 今後の対応</p> <p>1. 継続して取り組んでいる事業やこれから着手する事業について着実に取り組み、歴史まちづくりを継続的に進めていく。</p> <p>2. 歴史的風致の維持及び向上に資する事業に位置付けている竹原市景観計画を策定し、歴史的風致の維持及び向上の実効性を高めていく。</p> <p>3. 景観阻害物件の解体・除却を歴史的風致の維持及び向上に資する事業に追加して事業を実施し、歴史的建造物を含めた歴史的町並みの質の向上を図る。</p> <p>4. 伝統行事等の現状を確認するとともに、広報活動等を通じて伝統行事を広く紹介し後継者育成につながるよう取組を進めていく。</p>			